

## 副町長に井手義隆が就任しました

就任のごあいさつ

6月の菊陽町議会定例会におきまして、議会の選任同意を賜り、7月1日付で副町長に就任いたしました井手義隆と申します。全国的に人口が減少する中、人口の増加が続き、県下でも活力のある菊陽町の副町長ということ、その職責の重さにあらためて身の引き締まる思いでございます。

行政の役割は、治山治水・防災により皆さまの生命財産の安全を確保し、経済・産業を隆盛にして皆さまの豊かな生活を安定させ、教育文化を盛んにして未来への礎を確固たるものにするというものであると考えています。

今、菊陽町には、この「安全」「経済・産業」「教育文化」をさらに発展させる「勢い」というものがあります。これは、町民の皆さまの営々



### 【学歴】

S 49.3 立命館大学産業社会学部卒業

### 【職歴】

S 50.4 熊本県職員採用（家庭児童課）  
H 2.4 企画開発部企画課  
H 3.4 (株)熊本県商品計画センター出向  
H 6.4 商工観光労働部企業立地課  
H 8.4 くまもとファズ(株)出向  
H 11.4 企画開発部文化企画課長補佐  
H 12.4 (株)グリーンピア南阿蘇に出向  
H 13.4 福岡事務所長  
H 16.4 地域振興部文化企画課長  
H 20.4 球磨地域振興局長  
H 21.4 熊本県労働委員会事務局長  
H 22.3 熊本県退職  
H 22.7 (株)熊本テルサ専務理事・館長

とした努力により創り出されたものでしょう。私はこの「勢い」を削ぐことなく次代に承継させるべく、皆さまとご一緒に働く覚悟であります。そのためには、これまで以上に効率的・効果的な行政運営を推進することが重要であり、仕事を進めるにあたっては、透明性を確保し、説明責任を果たしていくことが大切だと思っております。

副町長の役割は、町長を補佐し、町長の命を受け、政策と企画をつかさどり、町職員の担任する事務を監督することとされています。この役割をしっかりと果たし、菊陽町の発展に貢献できるよう努めて参る所存であります。皆さまのご指導、ご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

## 保育

### 家庭的保育者になるための研修会を行います

福祉課 保育所係 ☎(232)4913

町は、保育サービスを充実させるため家庭的保育事業を進めています。そこで家庭的保育者(通称：保育ママ)と家庭的保育補助者になっていただける人を探しています。

#### 家庭的保育事業とは

家庭的保育者が家庭的保育補助者を雇い、自宅や賃貸アパートなどで、少数の乳幼児(生後6カ月～3歳未満児)を保育するものです。同保育者が町と委託契約を結び「国が定める基準」に沿って保育を行います。

#### 家庭的保育者とは

保育士資格を持ち、定められた研修を受け、町から認定を受けた人です。



#### 家庭的保育補助者とは

家庭的保育者を補助する人で、保育士資格は必要ありませんが、定められた研修を受ける必要があります。

#### 「国が定める基準」の主なもの

- 1 児童数は保育者1人で3人以内
- 2 保育室の面積は9・9㎡以上
- 3 衛生的な調理設備の整備
- 4 幼児の遊戯などに適する庭(または付近の公園)の具備
- 5 保育計画の作成
- 6 保育の記録

#### 家庭的保育者や家庭的保育補助者になるためには

県が主催する研修を受ける必要があります。研修は9月中旬ごろに開催される予定です。研修を希望する人は、電話で福祉課にお申し込みください。

#### 申込期限

8月28日(水) 午後5時

## 「きくようのちから」できました ～授業は笑顔で始めて笑顔で終わる！～

町教育委員会は、平成23年12月に平成32年度までの10年間を計画期間とする「菊陽町教育振興基本計画」を策定し、未来を切り拓く教育の振興を進めています。この計画は「前途洋々と陽光『さん』と輝く人材を育む」という教育理念のもと、その実現のために4つの取り組み方針を定めています。

そのうち「義務教育」の分野では、教職員一人一人の指導力を高めることを目標の一つとしており、その実現を目指して、「きくようのちから」を約1年かけて町内各小中学校の代表16人の発案により作成しました。これは教職員向けに、狙いを明確にした授業づくりや板書のこつなど日々の授業の進め方を具体的にアドバイスしたもので、児童・生徒の学力向上につながる狙いがあります。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

#### 問い合わせ

教育委員会 学務課 ☎(232)4918



#### 赤峰教育長にインタビュー

「きくようのちから」を作った思いとはー

表紙の絵は夏目漱石の小説「坊ちゃん」に登場する個性豊かな先生たちを表現しています

毎日一生懸命頑張っている先生方にはそれぞれ個性があります。その個性を生かしながら授業の基礎・基本を大事にしてもらいたいと思います。先生方の表情豊かな授業が、子どもたちの心を和ませ、学習への意欲を湧かせることでしょう。「きくようのちから」を読んで、あらためて授業を振り返り指導に生かすこと。それが子どもたちの学力向上につながるかと信じています。

## 第9回菊陽町次世代育成支援「陽っ子まつり」を開催します

毎年たくさんの人にご来場いただいている「陽っ子まつり」を、今年も開催します。昨年に引き続き、子育て相談コーナーや食育コーナー、伝承遊び、山口仁美先生のベビーマッサージなど、さまざまな催しを行います。また、交通安全教室や救命教室、「いちごくらぶ」による歌や踊りを交えた参加型のコンサートを計画しています。町内に住んでいる人はもちろん、町外に住んでいる人も大歓迎です。入場無料ですので、皆さまのお越しをお待ちしています。

日時 8月31日(土) 午前9時30分～正午

場所 菊陽町図書館ホール

#### 内容

- 午前9時30分 受付開始
- 午前9時45分 開会式
- 午前10時 交通安全教室(交通安全協会)
- 午前10時30分 救命教室(菊池南消防署)
- 午前11時 いちごくらぶコンサート
- 正午 閉会式

#### 問い合わせ

福祉課 子育て支援係 ☎(232)4913



△ベビーマッサージ

▲交通安全教室



▲いちごくらぶ